

## 今週（4月6日から4月10日）の短期金融市場動向

### ●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズは強く、出合いレートの水準は、0.727～0.728%程度で安定的に推移した。ターム物に関しては、今月の日銀金融政策決定会合における利上げの警戒感からショートターム物が中心となった。ロングターム物についてはオファーサイドとビッドサイドの目線が乖離しており閑散となった。

日銀当座預金残高は、6日(月)に457兆円程度からスタートした。8日(火)には財政資金の払いを主因に458兆円台に増加したものの、10日(金)には国債発行等の要因により減少し、456兆円程度での着地となった。

### ●債券レポ市場

今週の債券レポ市場では、GC T/Nが0.75～0.76%前後を中心に出会い、ターム物も決定会合を跨ぐ1～3M物で活発な引き合いが見られた。

SCについては、カレント銘柄やチーペスト周辺を中心に引き合いが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場では、全ゾーンでレートが上昇した。

9日実施の6M物、10日実施の3M物入札はいずれも無難な結果に終わり、セカンダリーも総じて堅調に推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、卸売業、電気・ガス業、電気機器等幅広い業態が大型発行を実施した。

市場残高は21兆円台半ばから始まり、9日には22兆円台に到達した。

発行レートについては、0.75%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/6 (月)	53,413.68	2.425	159.56	0.727	0.755	4,570,300
4/7 (火)	53,429.56	2.405	159.80	0.727	0.755	4,574,700
4/8 (水)	56,308.42	2.365	158.65	0.727	0.754	4,580,600
4/9 (木)	55,895.32	2.390	158.86	0.727	0.755	4,587,200
4/10 (金)	56,924.11	2.434	159.23	0.728	0.755	4,561,400

## 翌週（4月13日から4月17日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/13 (月)	植田日銀総裁 第101回信託大会における挨拶 3月のマネーストック(日銀 8:50)				3月の米中古住宅販売件数
4/14 (火)			20Y物 4/15発行 7,000億円		3月の米生産者物価指数
4/15 (水)	2月の機械受注統計調査(内閣府 8:50)				米ページブック
4/16 (木)		TDB1M 4/20発行 30,000億円	流動性供給 4/17発行 6,500億円	交付税借入 4/24借入 9,000億円	3月の米鉱工業生産 3月のユーロ圏消費者物価指数改訂値
4/17 (金)	2月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TDB3M 4/20発行 46,000億円			

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/13 (月) 日銀予想	400	▲ 5,900	▲ 5,500	国債補完 社債等買入	2,900 ▲ 300		2,600	▲ 2,900	TB3M発行▲46,000 償還47,000
4/14 (火) 弊社予想	400	1,000	1,400				0	1,400	源泉税揚げ
4/15 (水) 弊社予想	▲ 1,000	72,000	71,000	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	63,000	個人向け発行▲7,200 償還700 20Y発行▲7,000 年金定時払い
4/16 (木) 弊社予想	▲ 1,000	1,000	0				0	0	交付税借入▲13,000 期日13,000
4/17 (金) 弊社予想	▲ 1,200	▲ 500	▲ 1,700				0	▲ 1,700	流動性供給▲6,500

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、付利以下の水準で資金調達ニーズが根強く、0.727%近辺での推移が見込まれる。債券レポGC T/N物のレートは、0.75~0.76%のレンジで推移することが予想される。短国市場は、16日(木)に1Y物、17日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では13日(月)に植田日銀総裁の第101回信託大会における挨拶、3月のマネーストック、15日(水)に2月の機械受注統計調査、17日(金)に2月の石油等消費動態統計が公表予定である。海外では13日(月)に3月の米中古住宅販売件数、14日(火)に3月の米生産者物価指数、15日(水)に米ページブック、16日(木)に3月の米鉱工業生産、3月のユーロ圏消費者物価指数改訂値が公表予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社の正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を各自負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。